

# RACDA高岡の取組み



2006.10.24

地球温暖化対策とまちづくりに関する検討会

---

路面電車と都市の未来を考える会・高岡  
(通称: RACDA高岡) 会長 島 正範

# RACDA高岡と万葉線存続問題

## 人と環境にやさしいまちづくり

社会問題(高齡化・福祉・環境・中心市街地etc)

解決に有効な「路面電車」の活用

時代のすう勢 路面電車「万葉線」廃線

市民自発・主体的 (勉強会・出前キャラバンetc)

既存地縁組織との連携

(自治会・婦人会・老人会・児童クラブetc)

存続・活用の流れを創る

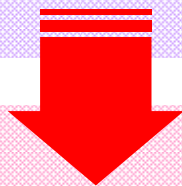
地方鉄道再生の分水嶺

# 環境問題

「万葉線」全長12.8km 年間100万人

廃止すると

電車 自家用車利用



二酸化炭素

年**350**万トン(炭素トン)**増加**

環境自治体会議：上岡直見氏

# 時代のすう勢

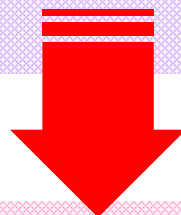
税金投入疑問視 単なる公共交通

減り続ける利用客・増え続ける赤字(補填)

規制緩和政策(参入・撤退の自由)

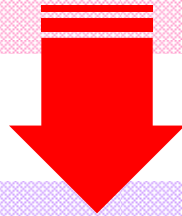
疑わないクルマ依存社会

三セク罪悪視



当然、過去の遺物として**廃線**！

ところが？



1998.2 ~ 2000.12

長期間に渡る市民的議論の末  
新しい第三セクター型で

**存続決定**

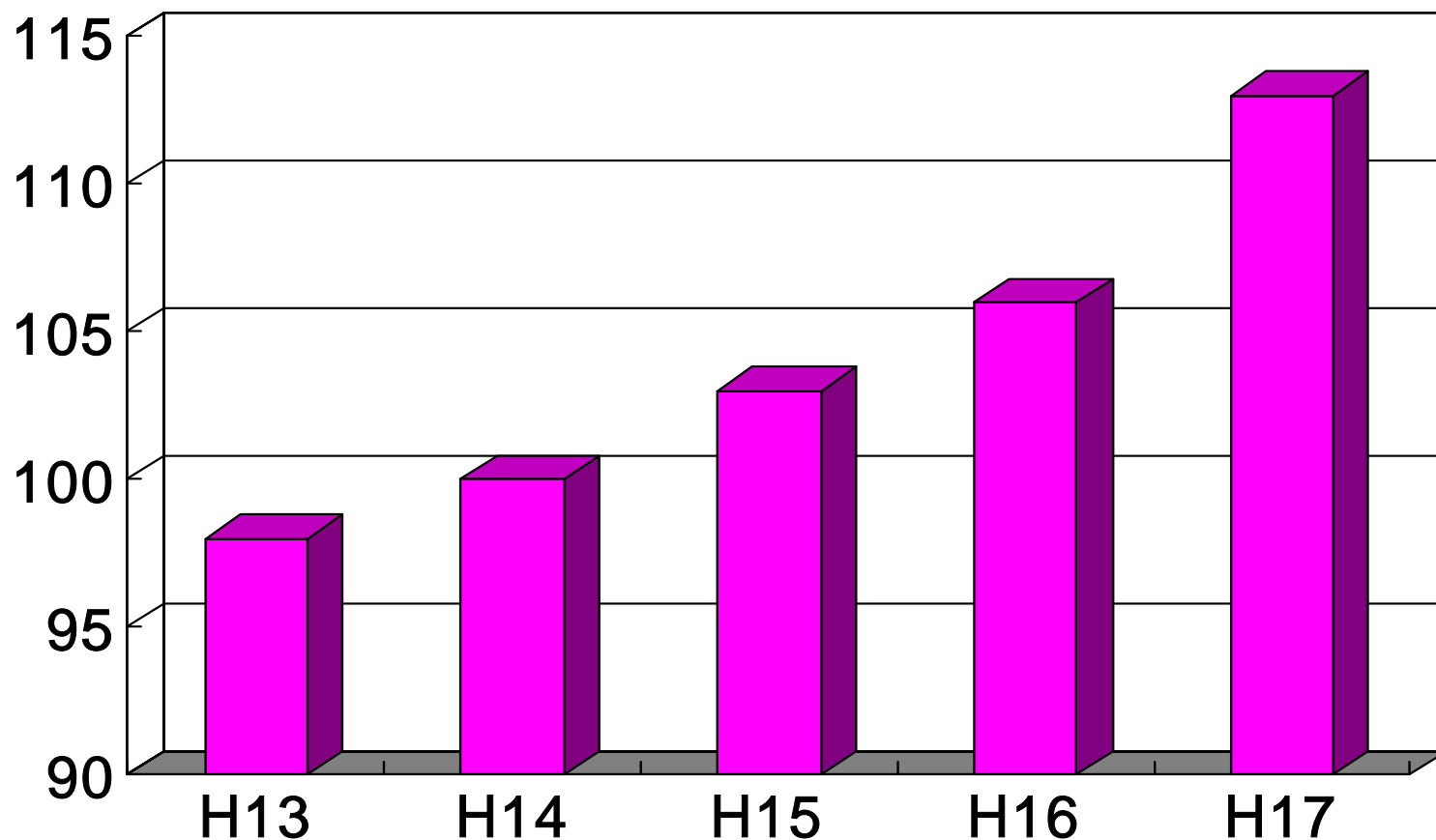




高岡駅前を走る万葉線LRV「アイトラム」

# 増え続ける利用者

■ 万葉線利用者（万人）



# 市民自発的・主体的存続提案

定例勉強会 三人で本の読み合わせから

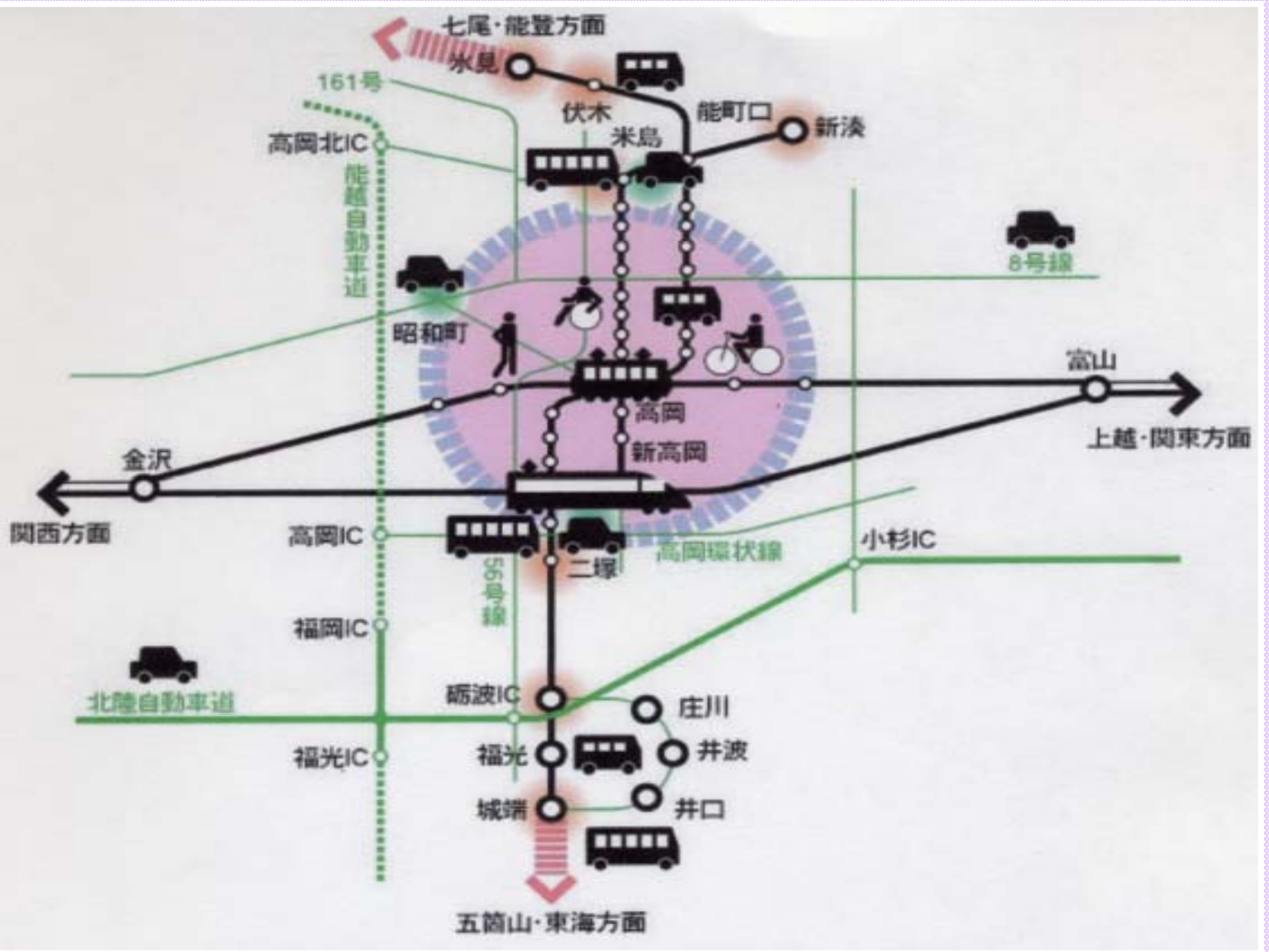
万葉線再生計画案 = 地域の将来像

出前まちづくりフォーラム

ラクダキャラバン = 地域課題を考える

各種イベント = 活用・暮らし提案



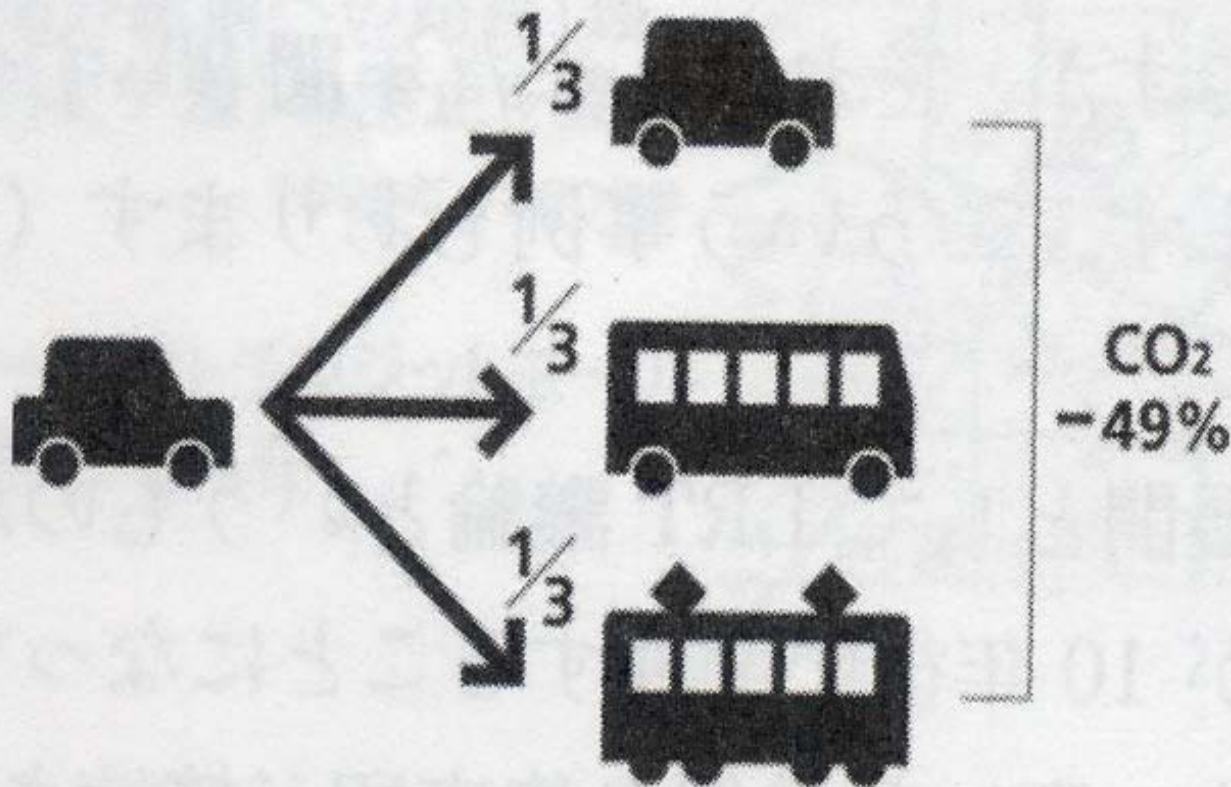


万葉線再生計画案概念図：RACDA高岡

# 移動手段の組み合わせによるCO2削減例

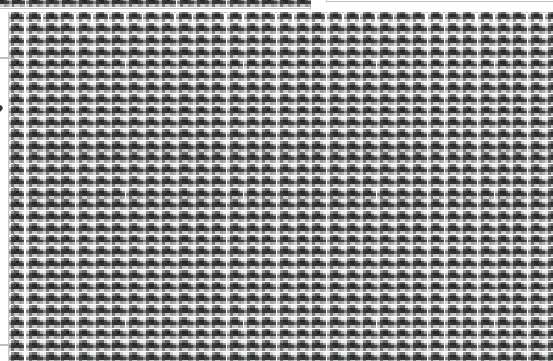
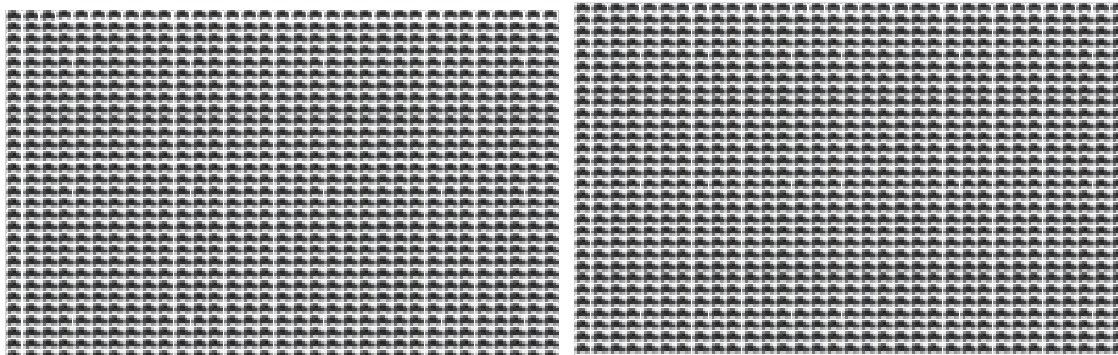
「京都の交通今日と明日」パート3(つむぎ出版)を参考に作画

マイカー利用100%を3分の1をバスに、もう3分の1を電車に振り替えるとCO2の排出量は約半分になる



ラクダキャラバンより

# 情報提供のための模式図？



**1両廃棄（約30年） = 車 3,000台**

試算：富山大学武山良三教授





ラクダキャラバン at 山町筋





ラクダキャラバンat荻布





ラクダキャラバン at 二塚 (NHKご近所の底力放映) <sup>14</sup>

